

平成29年度地域づくり人材養成講座 第3回ワークショップ開催概要

日 時	平成29年7月23日(日) 10:00~12:00
場 所	中津川市坂下公民館
指導・助言者	岐阜大学地域協学センター長 益川 浩一 教授
ファシリテーター	コミュニティ診断士 伊藤 敏樹 氏、熊倉 丈夫 氏、倉地 幸子 氏、 藤本 久子 氏、前田 健一 氏
受講者	14名
主催者	岐阜県環境生活部県民生活課 中津川市文化スポーツ部生涯学習スポーツ課
内 容	<p>◆開会</p> <p>1 指導・助言者の紹介</p> <p>◆ワークショップ</p> <p>1 前回の振り返り</p> <p>2 グループワーク 前回は引き続き「男性向けの取組み」「川の活用」「情報発信」「世代間交流」の4つのテーマに分かれ、地域活動の計画を立てました。</p> <p><男性向けの取組み> ○アンケート調査を実施後、ニーズに合わせた講座・イベントを実施したい！ ・課題：①講座等を開催しても参加するのは圧倒的に女性が多い ②男性でも65歳以上になると、参加する方は多くなるが、現役世代の方はほとんど参加しない</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ターゲットとする30代~50代の男性にアンケートを実施し、ニーズを把握した後、方向性を決定する</p> <p>・単発の講座ではなく、長く継続できる講座にしたい</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p><川の活用> ○川を大切に、川に親しむイベントを実施したい！ ・課題：規制等があり、川で自由に遊ぶことができない</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>川に親しむ体験を実施する →子どもの頃から川に親しんでいれば、大人になっても親しみを 持ち続ける →みんなが川に親しみをもてば、川の整備にもつながる</p> <p><情報発信> ○既存のものを活かしつつ、より分かりやすいものにしたい！ ①既存のウォーキングマップに歴史などジャンル別の情報を追加 ②子ども向けの地域や歴史を紹介する資料を作成（既存資料の表現をやさしくする） ③本講座の他グループの情報を発信 ④公民館にある情報をスマホ等でどこからでも入手できるようにする ⑤情報を一ヶ所に集まる様にして、市のホームページへつなぐ ⑥ホームページへ地区別の入口を作り、その中は、ジャンル別に分けて見やすくする ・課題：チラシ、パンフレットなど情報発信はしているが、伝わっていない</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>見る人にとって分かりやすいものにする</p> <p>・まずは資料集めを行い、各事項の次の作業へ入る</p>



<世代間交流>

○坂下地域の伝統文化、伝統料理、昔のあそびなどの講座を開催し、三世代交流をしたい！

- 課題：①居場所や活動スペースなど全ての意味で「場所がない」
②坂下地域に在住する小さな子どもの母親の多くは、市外出身者
→地域のことをあまり知らないため、子どもたちへも教えられない
→地域の知り合いが少なく、孤立してしまう



坂下地域のことを知ることができる講座を開催する

- 地域の人、過去の公民館講座受講生を講師に迎える
- 地元の高校生にも、参加してもらいたい

- 活動成果は、坂下文化祭で展示発表をしたい



◎益川先生コメント



- 自分たちの目線で、地域の課題を見つけ、自分たちに何ができるかを考えることは大変重要なことだ。その姿勢を大切にして、今回の計画をさらに深めていってほしい。
- 普段地域の人たちが集まり、語りあう機会はあまりなかったのではないか。本講座で、思いを言葉にいただいたので、是非思いが形になるよう継続的に活動してほしい。

これから平成29年12月10日の報告会まで、自主活動期間に入ります。各グループで日程を調整しながら、第3回までに作成した計画をさらに充実した内容にしていきます。早いグループは、活動の実践に入るかもしれません。